

職員の活躍（個展開催）

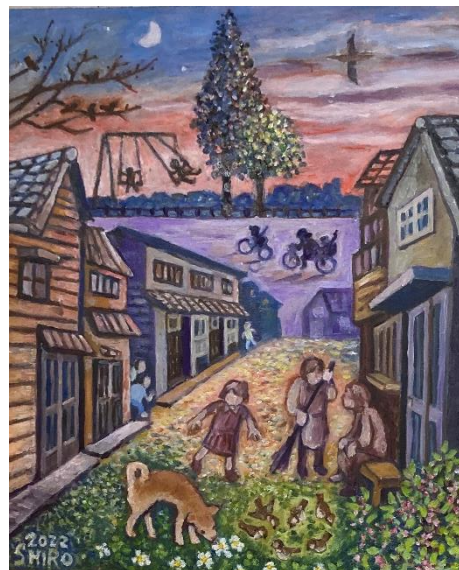
令和5年8月11日

本校職員で美術部顧問の武内司郎先生が、市内の画廊喫茶店で個展を開催しました。「この星の いのちのはじまり つながり かがやき」というテーマで、地球の創造期から恐竜時代、そして、近年の環境汚染や乱獲に苦しむ動物たちを表現した6枚の連作をはじめ、市内の身近な風景や能勢の山々を散策した折の作品も並んでいました。

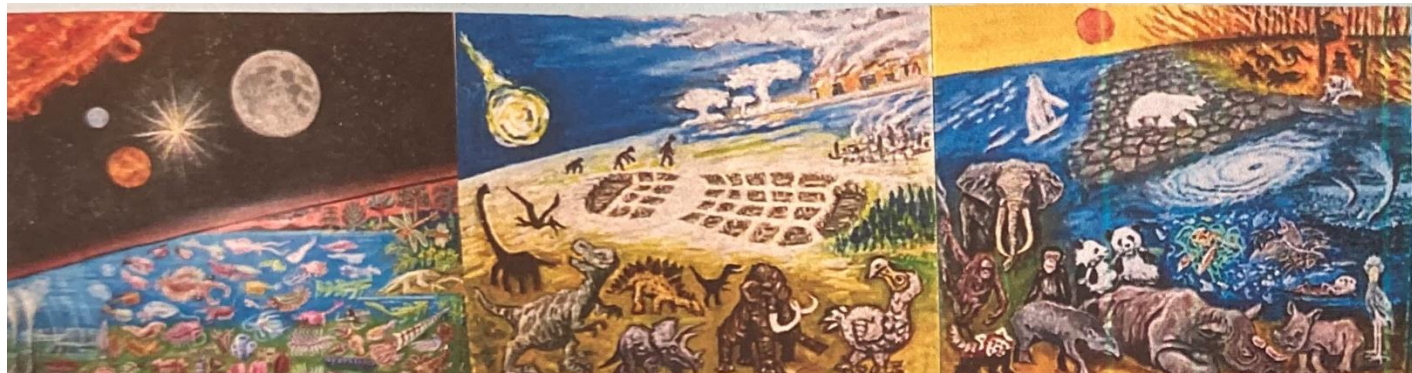
地球環境や生き物、身近な自然への愛情に満ちた、美しく愛らしい作品ばかりですので、武内先生の許可を得て、皆さんにも紹介します。

文化祭等で生徒の皆さんや保護者の方々にもご覧いただく機会が作れないか考えたいと思います。

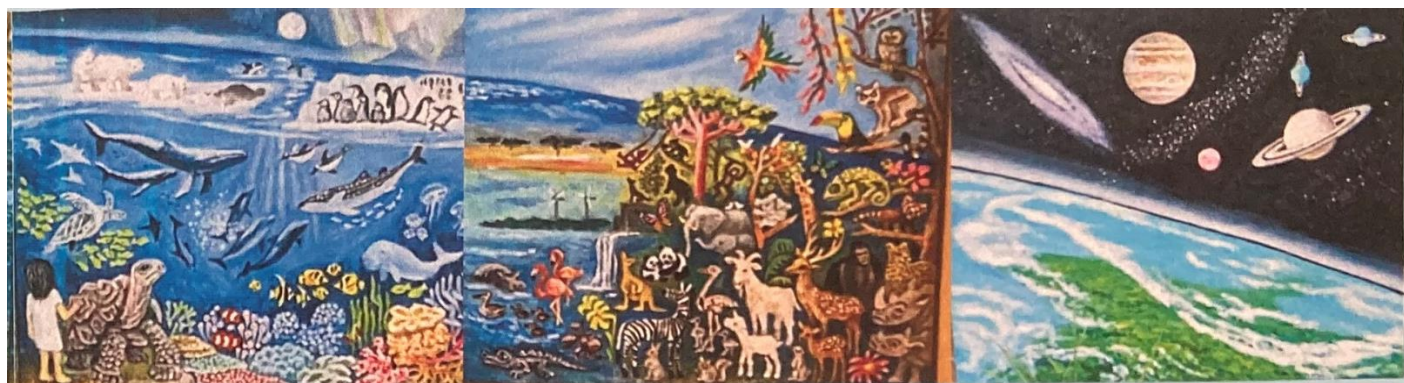
美術部の指導をしながら、生徒と一緒に描くことも多いとのこと、美術部の皆さんの作品も楽しみにしています。



個人的にはこの絵にも惹かれました



6枚の連作。左から5億4千年前の「カンブリア大爆発」と呼ばれた多様な生命の誕生。そして、恐竜やマンモスの時代、しかし、隕石の衝突などで絶滅します。その後また多様な生命が誕生し現在に至るが、人間社会による環境変化が原因で絶滅の危機にさらされています。



武内先生によると、下の左の2枚は人間が地球環境、他の生命と共存している理想の姿だそうです。そして、連作の横に、こう記されていました。

すべての生き物たちが かがやいていける地球が いつまでも続いていきますように！